




市章



港のしるしと中央の五をもって、安政5年通商条約により指定された五港を意味し、これに雪環を頂かせて五港のひとつ新潟をあらわす

## 一般会計・特別会計・企業会計の総額 3,756億8,737万円

<b>一般会計</b> 1,898億円	<b>特別会計</b> 1,496億3,488万円 国民健康保険事業、下水道事業 中央卸売市場事業、と畜場事業 土地取得事業、老人保健事業 母子寡婦福祉資金貸付事業 介護保険事業、駐車場事業 ガス事業清算事業	<b>企業会計</b> 362億5,249万円 病院事業 水道事業
------------------------	---	--


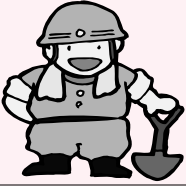
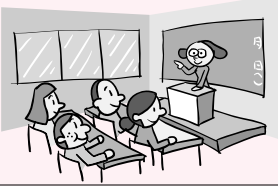
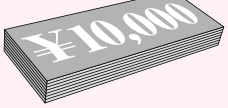




一般会計予算は  
市民1人あたり約36万6,600円  
その主な使い道は...

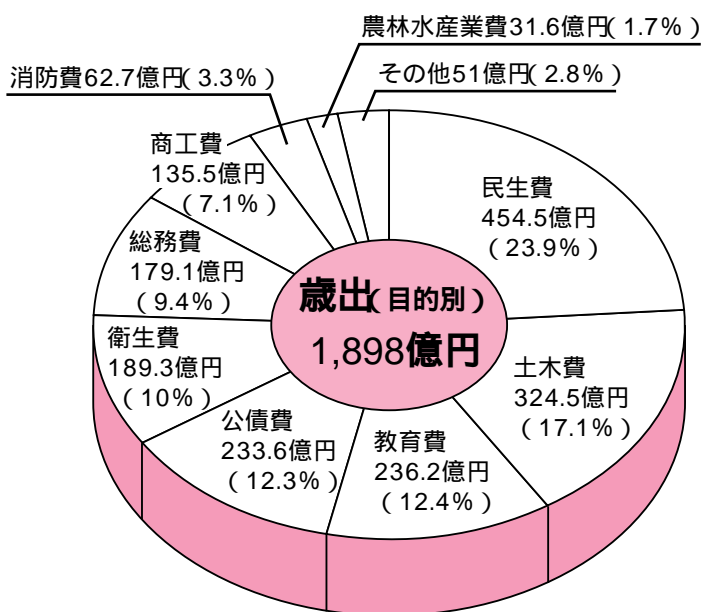
一般会計予算1,898億円を市の人口51万7,817人(住民基本台帳=1月末現在)で割ると、約36万6,600円になります。

平成15年度当初予算は、厳しい経済状況を反映して、一般会計の総額が1898億円で、14年度当初予算に比べて1.3%減少。一般会計の規模が減少するのは、12年度以来3年ぶりとなります。15年度の予算は、こうした財政環境にあっても、市民の皆さんにとって明るい希望を抱くことができるように配慮しました。「安心・安全な暮らしづくり」「雇用の場の拡大を中心とした活性化」など6つの柱を掲げ、重点的に取り組みます。(15年度予算は、現在開会中の2月定例会市議会で審議されています)

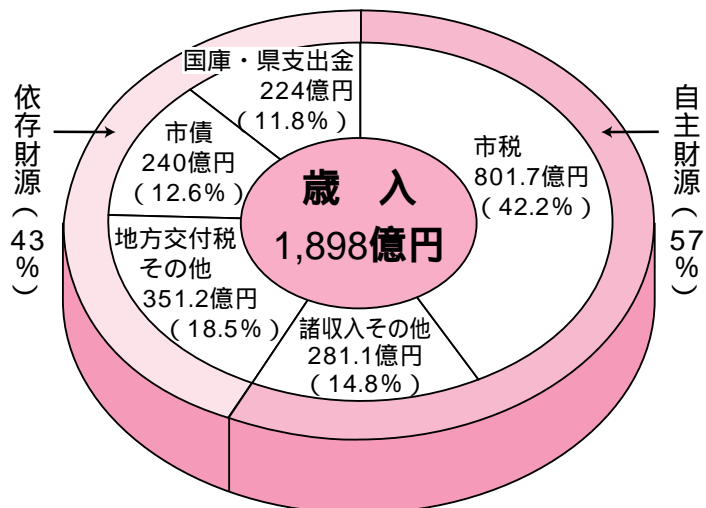
### 重点的な柱

- 合併・政令指定都市づくり
- 安心・安全な暮らしづくり
- 雇用の場の拡大を中心とした活性化
- 水と緑に恵まれた国際都市づくり
- にいがた地元学
- 市役所改革

<b>民生費</b> 高齢者福祉や子育て支援の充実 8万7,000円 	<b>土木費</b> 道路や公園の整備など 6万2,000円 	<b>教育費</b> 学校教育の充実や生涯学習の推進など 4万5,000円 	<b>公債費</b> 市の借金の返済 4万5,000円 
<b>衛生費</b> ごみ処理など 3万6,000円 	<b>総務費</b> IT推進、文化振興、国際交流の推進など 3万4,000円 	<b>商工費・農林水産業費</b> 地域経済の活性化など 3万2,000円 	<b>消防費</b> 消防や救急活動 1万2,000円 



### 一般会計予算案の内訳



端数処理のため、各項目の合計が合計数値に一致しないことがあります

### 紙面紹介

- [ 2・3面 ] 6つの柱ごとの予算概要
- [ 4面 ] 進む 基盤・施設整備

**◆一般会計**  
市税を主な財源として、福祉や教育、消防、道路整備など、さまざまな分野の事業を行うための市の基本的な会計です。

**◆特別会計と企業会計**  
特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して別の財布で経理する会計です。このうち、病院や水道といった民間企業に近い事業は、「企業会計」として設置しています。

**◆自主財源、依存財源**  
市税や市の施設の使用料など、市が自主的に調達できるお金を「自主財源」、地方交付税や国庫補助金、市債など、ほかに依存している収入を「依存財源」といいます。

**◆市税**  
市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など

**◆諸収入その他**  
マリニアピア入館料、体育施設使用料、制度融資貸付金の返済金など

**◆地方交付税**  
全国各地でも一定水準の行政サービスが提供できるよう、国が国税を財源として交付するものです。

**◆市債**  
道路や公園、学校など、何年にもわたって利用する施設建設のための借入金、合併特例債など

**◆国庫・県支出金**  
使い道を特定して国・県が支出する補助金です。

### 予算の用語解説